

いよいよ現地校でのプログラム最終日を迎えました。「ついこの間到着したばかりなのに・・・」「バディと折角仲良くなってきたのに・・・。」と皆さん時の流れの速さを感じているようです。そして今日はそんな別れを惜しむ生徒さんの気持ちを表すかのように、空からは大粒の雨が降りだしました。しかし、今日は現地校生徒との交流、夜にはホストファミリーとのさよならパーティとイベントが盛りだくさんの一日となりました。

午前中の英語クラスでは、お世話になったホストファミリーへのサンキューカード作成を行いました。それぞれが思い思いに、相手がもらって喜ぶ物を考え、折り紙で作成した鶴を飾るなど工夫を施していました。そしてその後は、ニュージーランドでの研修を通して学んだことについての共有の時間です。一人一人、勿論「英語」でスピーチして頂きました。皆さん異なった視点で、様々な気づき、感じたことがあった様です。その一部として、日本車の普及、湯船につかりたいという日本への思い、ホストファミリーとの生活を通じて、家族間での会話の大切さ、チャレンジ精神を持つこと、バディの様に誰に対しても明るく接したいという今後の抱負など、まさに十人十色の学びがあった様です。

午後は現地校生徒との最後の交流の時間となりました。数名の生徒さんが中心となり、ゲームの内容から、会の段取りまで全て生徒さんで行って頂きました。移動や休憩時間などを利用しての、短時間での準備となり、本番に間に合うかなと不安な気持ちで見守っていました。しかし始まってみると、そんな心配とは裏腹に、気付けばマイクを片手に大きな声で、司会進行、ゲームの説明を行い、現地校生から笑いを取る程堂々とした生徒さんの姿がありました。周りは代表者が話しやすくなるようにと拍手で盛り上げます。まさに諏訪清陵生が一丸となって、良い会にしようという気持ちが伝わってきた瞬間でした。現地校への滞在は実質3日と短期間ではありましたが、双方の生徒さんの弾ける笑顔を見て、互いに歩み寄り、友好を深めることができたのだと感じました。

そして夜は、お世話になったホストファミリーを招待し、「さよならパーティ」を行いました。現地校生徒との交流と同様、ファミリーを楽しませようと生徒さん達が奮闘します。最後は、ニュージーランドの美しい文化マオリの歌をサプライズで合唱。感謝の気持ちをしっかりと伝えることができました。異国の地で出会い、見ず知らずの人と生活を共にするというのは、中学3年生の生徒さんには大きなチャレンジだったと思います。しかし、初日の不安げな目をした生徒さんはもういなく、皆さん安心しきった目で家族と会話しているのを見て、毎日試行錯誤しながら会話の糸口を見つけ、行動したからこそ、今こうして家族との絆を築くことができたのだと思いました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、明日はホストファミリーとのお別れの日です。午前中は家族と過ごし、昼食後空港付近のホテルに向け出発します。悔いの残らぬよう最後の一時を楽しんで欲しいと思います。以上研修5日目の報告と致します。

諏訪清陵高等学校附属中学校 ニュージーランド語学研修 報告書 5日目 3月8日(金)
【Melville High School】



諏訪清陵高等学校附属中学校 ニュージーランド語学研修 報告書 5日目 3月8日(金)
【Melville High School】



諏訪清陵高等学校附属中学校 ニュージーランド語学研修 報告書 5日目 3月8日(金)
【Melville High School】

